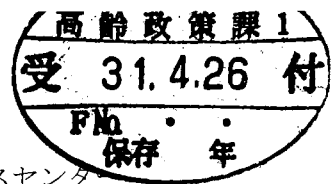


平成 30 年度事業報告書

相模原市立古淵デイサービスセンター



1) 目標に対して

1、契約者数を増やす

→7月の酷暑、インフルエンザが流行った夏を乗り越えた方々が秋以降入院から入所
他界が相次ぎ、契約者数はさらに激減することになった。

2、利用者それぞれが楽しみが持てる、個々の自立支援につながるプログラムの充実

→部活動制で日曜大工部、音楽部、園芸部、手芸部、クッキング部等それぞれの得意分野で活動していたご利用者も徐々にできる方々が減ってきている。

その為、部活動に所属するというよりも、庭の果物野菜作りはその日やれる方や楽しみにしている方で行い3月の被災地支援バザーに出したり、野菜を収穫して厨房に渡しその日のお昼に出してもらったりして楽しまれている。手作り作品はお好きな方や作るものによって興味のある方が職員と一緒に針と糸を使ったり、ボンドを使ったりしながら多様な作品を作っている。秋以降は被災地支援バザーに向けての作品作りも熱心で、やりがいを持って取り組まれている。音楽は職員の伴奏で歌声喫茶的な雰囲気を作りながら全体で行っているが、皆様歌うことはお好きで何曲も歌い続け盛り上がっている。ゲームも全体で行い皆様も積極的に参加されている。

3、地域の方々、介護者との繋がりが広がる企画を実施する

→地域の皆様と合同での作品展は15年以上継続しており、被災地支援バザーは今回で3回目となる。作品やバザー品をお持ちくださる地域の皆様や介護者の皆様、当日見に来て購入して下さる方々も増え楽しみにして下さっている。地元のサークル会の皆様が熱心に活動して下さり、地域の方々に支えられて継続できている企画となっている。今年度は西日本豪雨で被災した高校生への支援であったが、デイサービスに通う100歳の方がお祝い金を全額寄付して下さったこともあり138,763円の寄付が集まった。当日来場して下さった方やデイサービスのご利用者からの応援メッセージを作成して送る。

4、職員のスキルアップ

→認知症介護実践者研修に正規職員3名中3名、認知症介護実践リーダー研修に1名参加した。認知症の方に対し、個別または小グループで効果的なプログラムを提供していく。(認知症加算31年度6月開始予定)

コグニサイズは看護師が個別で行う他、体操に含める形で職員全員が毎日交代で提供している。

2) 営業日・休業日・営業時間

今年度は初めて夏にインフルエンザが流行り施設内で感染していく心配が強くなった為、蔓延を防止するために8月10日(金)、11日(土)を急遽休業とした。

3) 年間活動・職員研修は予定月が変更になることもあったが予定通りすべて実施した。

4) 職員構成と役割

産休明け職員を受け入れると職員が多くなりすぎる為、東淵野辺デイサービスへ移動し復帰してもらう。

5) 考察(3年間の比較)

平成26~27年度

平成 26 年度の後半から定員を超える利用者の申し込みがありお断りをしなければならないような状況となっていた。その状態で平成 27 年度 4 月は登録 55 名、平均 22.4 名であった。しかし後半から中止者が相次ぎ 3 月には登録 44 名、平均 19.4 名に落ち込んだ。この年の中止者 20 名の主な理由は在宅生活が困難になった方 11 名、リハビリ型へ変わった方が 3 名、引っ越し 2 名、他界 4 名であった。

27 年度の中重度率は登録者数で 35%、延べ利用者数で 38%となっており、中重度者が増加傾向にあった。

平成 28 年度

平成 27 年度 10 月には月の延べ利用者数が 501 名となっていた時と比べて平成 28 年度になると

後半から契約者数も増加していったが、登録者数が最も多い月で 3 月の 51 名 476 名となり、前年の 27 年度年間延べ利用者数 5428 名には追い付かず 5254 名と 174 名減となった。

28 年度の中重度率は登録者のうち 45%、延べ利用者のうち 48%と実に半数近い利用者が中重度者となった。

平成 29 年度

28 年度から引き継いだ 4 月時点では契約者数 48 名延べ利用者数 410 名ではあったが、12 月から極端に延べ利用者数が減少している。例えば登録者数としては 11 月の登録者数 49 名延べ利用者数 430 名が

12 月には 2 名中止者が出ただけで登録者数 47 名延べ利用者数が 361 名となっている。

このあたりから中重度者であり複数回利用者の利用中止が相次いだことで延べ人数に大きく影響が出始めていることが伺える。この年は 12 月以降 3 月には登録者数 45 名となり 27 年 4 月の 55 名と比べて約 18%減少している。年間延べ人数 4922 名で 28 年度から 332 名の減となり、27 年度から比べると 506 名減少している。

29 年度の中重度率は 28 年度と同じ 48%、約半数の方が中重度者であった。

平成 30 年度

6 月より土曜日を開始したが比較するために前年度と同じ月～金の数値で比較する。

年間延べ人数 4292 名。29 年度からさらに 630 名の減少であり、27 年度と比較すると 1136 名の減少となった。月平均は 16.6 名。27 年度 4 月 22.4 名と比較してもたった 3 年で大きく減少している。

30 年度の動きを見てみると 4 月登録者 46 名延べ人数 389 名から 6 月は登録者 50 名延べ人数 419 名

7 月登録者 48 名延べ利用者 436 名と増加傾向であった。しかし夏の酷暑やインフルエンザの流行を超えた 8 月後半から 9 月あたりから持病の悪化、体力消耗による発病等 10 名の利用者が一気に中止となっていた。9 月登録者 40 名以降 3 月時点で 39 名、何より延べ利用者数が大幅に減り 7 月の 436 名から 2 月には 147 名減の 289 名となり月平均利用者数が 14.4 名経営自体が困難な状況になっていった年であった。中重度率は変わらず 48%であった。

30 年度の新規利用者は 18 名。中止者は 27 名内訳は在宅困難入所者 16 名、他界 9 名、中止者 2 名。

新規利用者の傾向としては軽度者が多く複数回利用者は少ない。反対に中止者は中重度者が半数以上を占める為複数回利用者である為延べ利用者数が大幅に減ってしまう。

収入面も 28 年度から約 1000 万減額となり、30 年単年度では赤字となった。

重度者が半数以上を占めてくるといずれこのような状況になることは予想されてはいたものの年間で赤字になるとは考えていなかった為、経営の立て直しが急務である。

利用者人数が減っても一人一人に職員の手がかかるようになってきているため、大幅に職員数を減らすことも出来ない。さらに当施設では看護師による個別機能訓練・口腔機能訓練・31 年度は認知症プログラムも実施しながらその方に応じた効果的なプログラムを提供したいと取り組んでいる。市内には相変わらず次々と民間のデイサービスセンターが出来ているが入浴施設がない、特別浴槽がない施設も多い。リハビリ型の施設に通っていても ADL が低下すると当施設のような機能訓練を求めてくる。

認知症が進んでいる方や他者とうまく付き合えなくなった方、医療的ニーズの高い方、自宅で入浴できない方等民間施設では対応出来ない方々を紹介されることの方が多い。

一方で緩和型の方、支援の方にも対応していかなければならず利用者のニーズ幅が大きい。

求められるニーズにこたえ地域に貢献していく施設となるためにも、これまで通り丁寧な対応を心掛け、活動を紹介する新聞づくりとその配布、新たな魅力あるパンフレット作成、ケアマネージャーへの営業活動等を継続し、早急な経営の立て直しに努力していく。

土曜日を6月から営業したが平均2名という結果であったため、1年間の営業で5月までの営業とする。

土曜利用者、ご家族、ケアマネージャーには訪問し説明、当施設から車で5分程度の所にある

同法人のデイサービスセンターへの利用を提案、全員が東淵野辺デイサービスセンターへ引き継ぐ。

30年度利用者状況 (6月より土曜開始)

月	営業日	平均	稼働率	登録数	延べ人数	中重度% (契約/延べ)	
4	21	18.5	74	46	389	43	49
5	23	18.4	73	48	425	43	46
6	26 (21)	16.5 (19.9)	66	50	429 (419)	43	42
7	26 (22)	17 (19.8)	68	48	444 (436)	44	50
8	26 (23)	13.4 (14.9)	51	45	350 (344)	43	48
9	25 (20)	13.4 (16.4)	53	40	336 (328)	44	49
10	27 (23)	15 (17.0)	60	40	405 (391)	45	49
11	26 (22)	14.1 (16.2)	56	40	369 (357)	48	54
12	24 (20)	12 (14.8)	50	41	304 (297)	41	47
1	24 (20)	12.7 (14.9)	51	39	307 (299)	46	52
2	24 (20)	12.3 (14.4)	49	39	296 (289)	47	51
3	26 (21)	12.6 (15.1)	50	39	329 (318)	42	49
計	298 (256)	14.6 (16.6)	58.4	42.9	4383 (4292)		

*営業日・・・ () 土曜を除いた営業数

*平均・・・ () 土曜を除いた平均

*延べ人数・・・ () 土曜を除いた延べ人数

理事長	園長		会計	担当者

第一号第四様式
(第十七条第四項関係)

古淵デイサービスセンター拠点区分 資金収支計算書

(自) 2018年4月1日 (至) 2019年3月31日

法人名 : 社会福祉法人 たけのうち福祉会

(単位 : 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	介護保険事業収入	51,505,000	49,076,244	2,428,756	
	居宅介護料収入	48,200,000	45,863,281	2,336,719	
	(介護報酬収入)	43,000,000	41,177,332	1,822,668	
	介護報酬収入	43,000,000	41,177,332	1,822,668	
	(利用者負担金収入)	5,200,000	4,685,949	514,051	
	介護負担金収入(公費)	300,000		300,000	
	介護負担金収入(一般)	4,900,000	4,685,949	214,051	
	利用者等利用料収入	3,305,000	3,212,963	92,037	
	食費収入(一般)	3,300,000	3,212,437	87,563	
	その他の利用料収入	5,000	526	4,474	
	経常経費寄附金収入		5,000	△ 5,000	
	経常経費寄附金収入		5,000	△ 5,000	
	受取利息配当金収入	1,000	982	18	
	受取利息配当金収入	1,000	982	18	
	その他の収入	445,000	299,105	145,895	
	受入研修費収入	180,000	54,005	125,995	
	利用者等外給食費収入	250,000	207,100	42,900	
	雑収入	15,000	38,000	△ 23,000	
	事業活動収入計(1)	51,951,000	49,381,331	2,569,669	

理事長	園長		会計	担当者

第一号第四様式
(第十七条第四項関係)

古淵デイサービスセンター拠点区分 資金収支計算書

(自) 2018年4月1日 (至) 2019年3月31日

法人名：社会福祉法人 たけのうち福祉会

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	人件費支出	40,780,000	41,295,937	△ 515,937	
	職員給料支出	17,580,000	18,008,787	△ 428,787	
	職員俸給支出	11,980,000	11,964,000	16,000	
	職員諸手当支出	5,600,000	6,044,787	△ 444,787	
	職員賞与支出	5,400,000	5,388,950	11,050	
	非常勤職員給与支出	13,750,000	13,729,458	20,542	
	退職給付支出	50,000	44,500	5,500	
	法定福利費支出	4,000,000	4,124,242	△ 124,242	
	事業費支出	6,273,000	6,332,487	△ 59,487	
	給食費支出	1,600,000	1,753,107	△ 153,107	
	保健衛生費支出	70,000	68,083	1,917	
	医療費支出	13,000	3,800	9,200	
	水道光熱費支出	3,000,000	3,060,860	△ 60,860	
	燃料費支出	300,000	275,534	24,466	
	消耗器具備品費支出	1,000,000	1,013,023	△ 13,023	
	保険料支出	160,000	158,080	1,920	
	雑支出	130,000		130,000	
	事務費支出	2,778,000	2,722,000	56,000	
	福利厚生費支出	150,000	132,036	17,964	
	旅費交通費支出	20,000	11,060	8,940	
	研修研究費支出	70,000	64,500	5,500	
	事務消耗品費支出	10,000	6,804	3,196	
	印刷製本費支出	5,000	2,988	2,012	
	修繕費支出	250,000	239,204	10,796	
	通信運搬費支出	320,000	315,788	4,212	
	会議費支出	5,000	5,000		
	広報費支出	30,000	22,680	7,320	
	業務委託費支出	800,000	869,795	△ 69,795	
	手数料支出	120,000	114,305	5,695	
	保険料支出	120,000	109,813	10,187	
	租税公課支出	53,000	11,700	41,300	
	保守料支出	750,000	751,248	△ 1,248	
	諸会費支出	30,000	30,000		
	雑支出	45,000	35,079	9,921	
	その他の支出	220,000		220,000	
	利用者等外給食費支出	220,000		220,000	
	事業活動支出計(2)	50,051,000	50,350,424	△ 299,424	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,900,000	△ 969,093	2,869,093	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	

理事長	園長		会計	担当者

第一号第四様式
(第十七条第四項関係)

古淵デイサービスセンター拠点区分 資金収支計算書

(自) 2018年4月1日 (至) 2019年3月31日

法人名：社会福祉法人 たけのうち福祉会

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	積立資産支出	400,000	380,000	20,000	
	退職給付引当資産支出	400,000	380,000	20,000	
	拠点区分間繰入金支出	1,500,000	1,500,000		
	拠点区分間繰入金支出	1,500,000	1,500,000		
	その他の活動支出計(8)	1,900,000	1,880,000	20,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 1,900,000	△ 1,880,000	△ 20,000	
予備費支出(10)					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	△ 2,849,093	2,849,093	
前期末支払資金残高(12)		51,649,857	51,649,857	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		51,649,857	48,800,764	2,849,093	

※本様式は、勘定科目の小区分までを記載し、必要のない勘定科目は省略することができるものとする。

※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、小区分については適当な科目を追加できるものとする。なお、小区分を更に区分する必要がある場合には、小区分の下に適当な科目を設けて処理することができるものとする。